

令和2年4月20日

## 「創立記念日を迎えて」

県立社高等学校長 若浦直樹

本日4月20日（月）は、本校の第107回目の創立記念日です。

本校は、大正2年4月に組合立小野実科高等女学校として設立されました。そして、翌年4月20日に開校記念式を挙行し、この日を創立記念日と定めて、歴史を刻んできました。この間、27,992名の方々が本校を卒業され、様々な分野で活躍されています。

（沿革）

明治42年5月	小野村外三ヶ村（大部、市場、来住）組合立小野高等小学校内に小野家政女学校を設置
大正 2年4月	組合立小野実科高等女学校として設置が許可されるとともに（定員35名）、小野高等小学校を廃止し、その校地、校舎、図書、機械器具等全財産を譲り受ける
大正 3年4月	開校記念式を挙行
大正 9年4月	加東郡立小野実科高等女学校と改称
大正10年5月	加東郡立小野高等女学校と改称
大正11年4月	兵庫県立社高等女学校と改称
昭和23年4月	兵庫県立社高等学校と改称し、男女共学となる

昭和34年に社簡易裁判所があるところから、現在学校がある嬉野台に移転してきました。当時の嬉野台は、一面赤土の原野でした。そして校歌の詞（高く聳ゆる我が学び舎）にもあるように当時では画期的な鉄筋3階建ての校舎が建てられたのです。時の阪本勝県知事が竣工式の訓示で「真理は赤土より生ず」と述べられ、知事の手によるこの言葉の扁額は今も校長室に掲げられています。

（校舎移転に関する基本方針 創立100周年記念誌より）

- ①落ち着いたすがすがしい雰囲気を醸し出す
- ②大地を抱いて、こせこせしない、おおらかで潤沢な青年を育成する
- ③人間性涵養上の重要性を考慮して、体育施設を全国高校中第1級のものとする
- ④運動場の空地には出来る限り樹木を植え、競技者の憩いの場所とする
- ⑤建物や通路にも教育的効果と消防・保安上の観点から十分な配慮を加える

創立記念日には本校の歴史を振り返ると共に、伝統ある社高等学校で学ぶことの誇りと自覚を持って、日々の学習や部活動に全力で取り組んでください。

生徒の皆さんの益々の活躍を期待し、創立記念日を迎えたいと思います。